

参考データ集

2011年(平成23年)11月7日

連結子会社および持分法適用関連会社 **INPEX**

連結子会社 56社

主な連結子会社	国(地域)名	出資比率	ステージ	決算期
ジャパン石油開発	アラブ首長国連邦	100%	生産中	3月(仮決算)
ナトゥナ石油	インドネシア	100%	生産中	3月
サウル石油	チモール海・共同開発地域	100%	生産中	12月
インペックス西豪州ブラウズ石油	オーストラリア	100%	開発準備作業中	3月(仮決算)
インペックス南西カスピ海石油	アゼルバイジャン	51%	生産中	3月(仮決算)
インペックス北カスピ海石油	カザフスタン	45%	開発中	3月(仮決算)

持分法適用関連会社 13社

主な持分法適用関連会社	国(地域)名	出資比率	ステージ	決算期
MI Berau B.V.	インドネシア	44%	生産中	12月
アンゴラ石油	アンゴラ	19.6%	生産中	12月
インペックス北カンポス沖石油	ブラジル	37.5%	生産中	12月

セグメント情報

2012年3月期第2四半期(2011年4月1日～2011年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期 連結損益計算 書計上額 (注2)
	日本	アジア・オセ アニア	ユーラシア(欧 州・NIS諸国)	中東・アフリ カ	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	49,949	231,631	45,036	243,900	2,646	573,165	—	573,165
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	49,949	231,631	45,036	243,900	2,646	573,165	—	573,165
セグメント利益又は損失 (△)	5,971	137,152	25,457	171,503	△6,662	333,423	△5,362	328,060

(注)

- 1 セグメント利益の調整額△5,362百万円は、セグメント間取引消去115百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△5,478百万円が含まれております。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。
- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2

LPG売上高

	11年3月期第2四半期 (2010年4月-9月)	12年3月期第2四半期 (2011年4月-9月)	増減	増減率
売上高(億円)	102	42	△59	△58.3%

販売量(千bbl)	1,645	530	△1,114	△67.8%
海外生産分平均単価 (\$/bbl)	64.79	85.06	20.27	31.3%
国内生産分平均単価 (¥/kg)	118	125	7	6.1%
平均為替(¥/\$)	90.21	81.89	8.32円円高	9.2%円高

地域別販売量(千bbl)	11年3月期第2四半期 (2010年4月-9月)	12年3月期第2四半期 (2011年4月-9月)	増減	増減率
日本	126 (12千ト)	121 (12千ト)	△5 (△0千ト)	△4.2%
アジア・オセアニア	1,518	409	△1,109	△73.0%
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	-	-	-	-
中東・アフリカ	-	-	-	-
米州	-	-	-	-
合計	1,645	530	△1,114	△67.8%

3

利払い・償却・探鉱費前利益(EBIDAX)

(百万円)	11年3月期第2四半期 (2010年4月-9月)	12年3月期第2四半期 (2011年4月-9月)	増減	備考
純利益	50,626	74,396	23,770	P/L
少数株主損益	2,495	8,634	6,139	P/L
減価償却相当額	55,385	56,197	812	
減価償却費	28,087	23,722	△4,365	C/F コンセッション契約及び販管費に係る減価償却費
のれん償却額	3,380	3,380	0	C/F
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	23,918	29,095	5,177	C/F PS契約に係る減価償却費相当額
探鉱費相当額	15,986	20,525	4,539	
探鉱費	6,461	10,535	4,074	P/L コンセッション契約に係る探鉱費
生産物回収勘定引当金操入額	7,500	9,145	1,645	P/L PS契約に係る探鉱費相当額
探鉱事業引当金操入額	2,025	845	△1,180	P/L PS契約に係る探鉱費相当額
重要な非現金項目	4,294	△540	△4,834	
法人税等調整額	6,979	4,083	△2,896	P/L
為替差損益	△2,685	△4,623	△1,938	C/F
税引後ネット支払利息	△965	△973	△8	P/L 税引後の支払利息一受取利息
EBIDAX	127,821	158,239	30,418	

4

生産物回収勘定の増減推移

(百万円)	12年3月期第2四半期 (2011年4月-9月)
生産物回収勘定(期首)	534,330
増加:	
探鉱投資	15,203
開発投資	63,619
操業費	24,816
その他	2,388
減少:	
コスト回収(CAPEX)	29,095
コスト回収(Non-CAPEX)	50,799
その他	0
生産物回収勘定(期末)	560,463
生産物回収勘定引当金	109,586

5

2012年3月期 販売量・投資額(予想)

INPEX

2012年3月期予想		5月11日時点	11月4日時点	増減	【参考】 第2四半期累計実績
販売量	原油 (千バレル) ¹	83,991	81,557	△2,434	39,139
	天然ガス (百万cf) ²	363,840	360,711	△3,129	184,454
	うち海外分	298,794	295,304	△3,490	156,027
	うち国内分	65,046 (1,743百万m ³)	65,407 (1,753百万m ³)	361 (10百万m ³)	28,427 (762百万m ³)
	LPG (千バレル) ³	2,409	2,403	△6	530

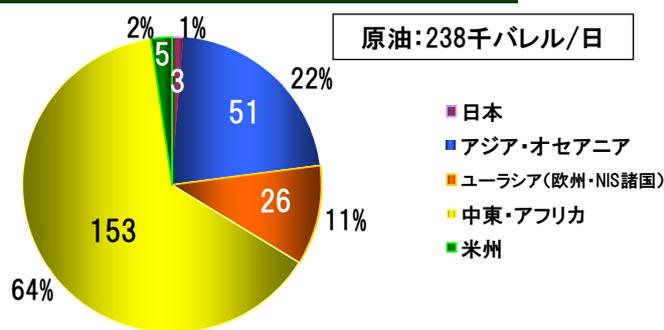
開発投資額 (億円)	2,750	2,090	△660	861
その他設備投資額 (億円)	370	380	10	29
探鉱投資額 ⁴ (億円)	540	490	△50	239
探鉱費および 探鉱関連引当額 ⁵ (億円)	探鉱費 136 探鉱関連引当額 322 458	探鉱費 191 探鉱関連引当額 219 411	△47	探鉱費 105 探鉱関連引当額 99 205
うち少数持分負担額 ⁶ (億円)	202	171	△31	104

- 注) 1 国内原油および石油製品販売量の換算係数として1kl=6.29バレルを使用
 2 国内天然ガス販売量の換算係数として1m³=37.32cfを使用
 3 国内LPG販売量の換算係数として1トン=10.5バレルを使用
 4 権益取得費を含む
 5 損益計算書の生産物回収勘定引当金繰入額+探鉱事業引当金繰入額を記載
 6 少数株主損益・持分変動利益として計上され、純利益には影響しない少数株主による増資見合い分

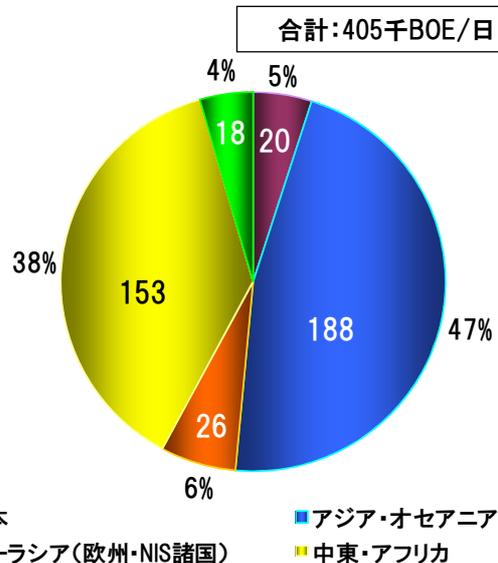
生産量*(2011年4月-9月)

INPEX

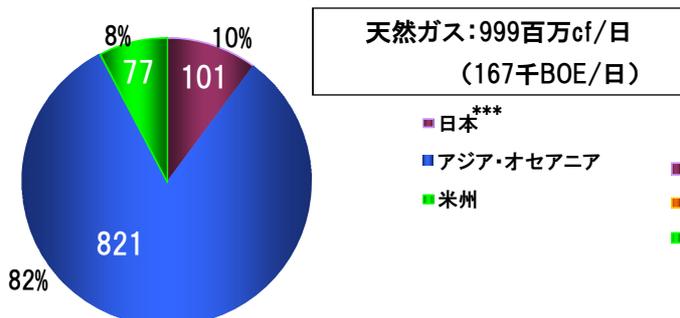
原油*



原油・天然ガス合計



天然ガス



- * 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しています。
 ** 原油には、コンデンサート及びLPGを含みます。
 *** 1m³当たり41.8605MJ

プロジェクト参考データ

探鉱実績(9月末時点)*

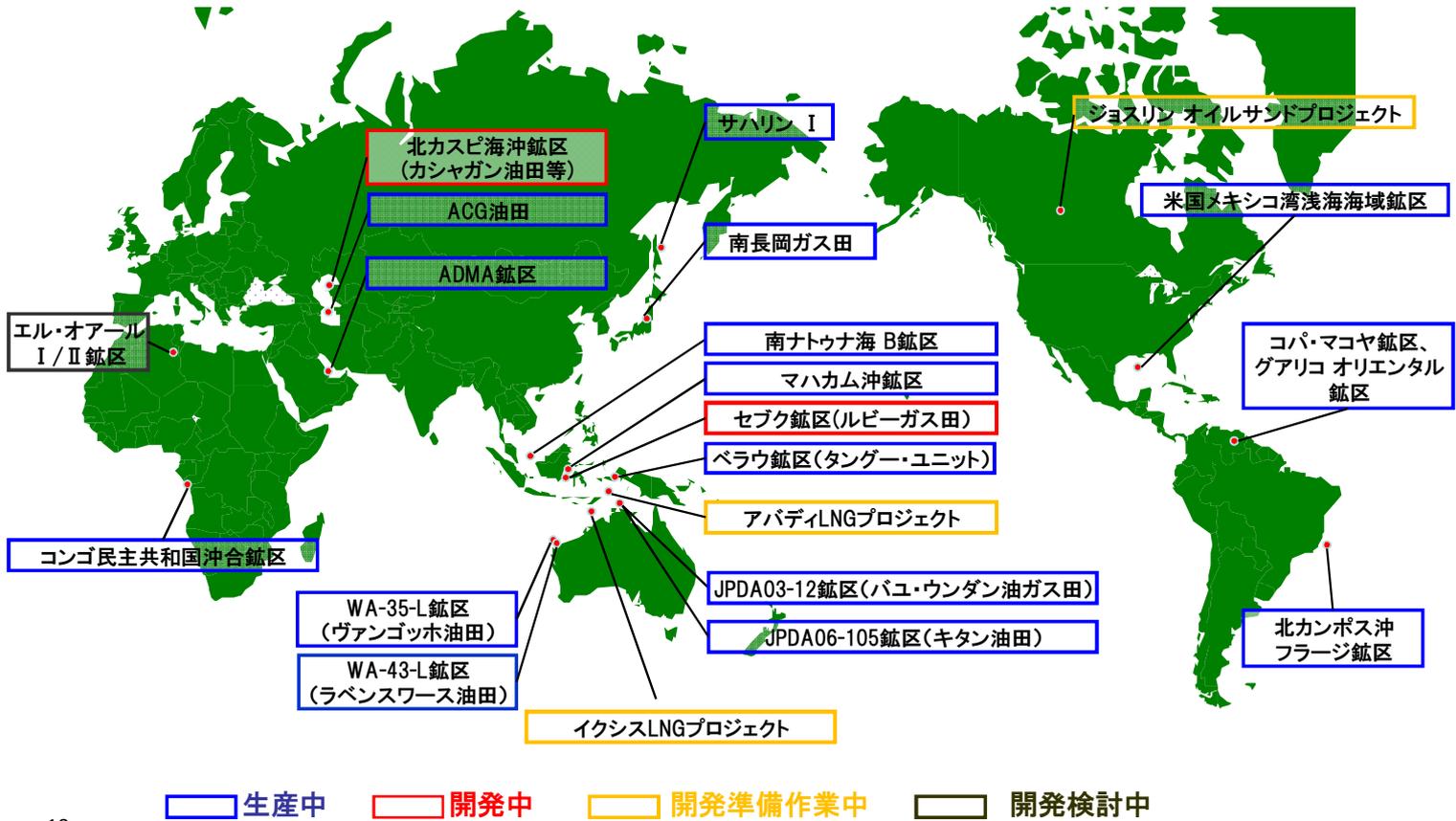


* ()内の数字は掘削坑井数

** オペレータープロジェクト

	試掘井(本)	2D震探(km)	3D震探(km ²)
2012年3月期(計画)	12	504	4,653
うち作業中・作業済	8	292	1,536

主な生産・開発プロジェクト



10

生産開始スケジュール

生産開始	プロジェクト・油ガス田	国	オペレーター	ピーク生産量・生産キャパシティ	当社シェア*1
2011年10月	キタン油田	JPDA*4	ENI	4万bbl/日	35%
2012年度(2012年4月～2013年3月)	カシャガン油田 パフルガス田(南ナトゥナ海B鉱区) サウスマハカムガス田(マハカム沖鉱区)	カザフスタン インドネシア インドネシア	NCOC*5 ConocoPhillips TOTAL	- -*3 未定	7.56% 35% 50%
2013年度(2013年4月～2014年3月)	ルビーガス田(セブク鉱区) サウスブルットガス田(南ナトゥナ海B鉱区)	インドネシア インドネシア	Pearl Energy ConocoPhillips	100MMscf/日 -*3	15% 35%
2014年度以降(2014年4月以降)	ウムルル油田	アラブ首長国連邦	ADMA-OPCO*6	-*3	12.0%
	ナスル油田	アラブ首長国連邦	ADMA-OPCO*6	-*3	12.0%
	ジョスリンオイルサンドプロジェクト(露天掘り)	カナダ	TOTAL	20万bbl/日	10%
	イクシスLNGプロジェクト(LNG) (コンデンセート) (LPG)	オーストラリア	当社	840万トﾝ/年 約10万bbl/日	76%
	アバディLNGプロジェクト(LNG) (コンデンセート)	インドネシア	当社	250万トﾝ/年 8,400bbl/日	60%*2
既発見・生産開始未定	クダ・タン/ジャハール構造	JPDA*4	ENI	未定	35%
	コニストン/ノバラ構造	オーストラリア	Apache	未定	41.324%
	カイラン/アクトテ/カラムカス/カシャガンサウスウェスト構造	カザフスタン	NCOC*5	未定	7.56%
	エルオアールI&II	アルジェリア	ENI	未定	10.29%

*1 当社シェアは、鉱区権益比率。ただし、持分法適用関連会社分は、鉱区権益比率に当社出資比率を乗じたもの
 *2 現行保有権益シェア90%のうち30%について、2011年7月にShellと権益譲渡契約を締結。インドネシア政府の承認等の権益譲渡契約上の先行条件の充足により譲渡発効予定。
 *3 プロジェクトパートナー各社との守秘義務上、公開不可
 *4 Joint Petroleum Development Area (Timor Sea)
 *5 North Caspian Operating Company
 *6 Abu Dhabi Marine Operating Company

11



- 生産量*

- ・天然ガス：約3.4百万m³/日 (129百万cf/日)**
- ・原油・コンデンセート：約4千バレル/日

- 天然ガス販売状況

- ・静岡ガス(株)からのLNG導入によりソースを多元化(2010年1月～)
- ・2011年3月期販売量：17.2億m³**
- ・2012年3月期販売量見通し：17.5億m³**
- ・中長期的に25～30億m³の需要を想定

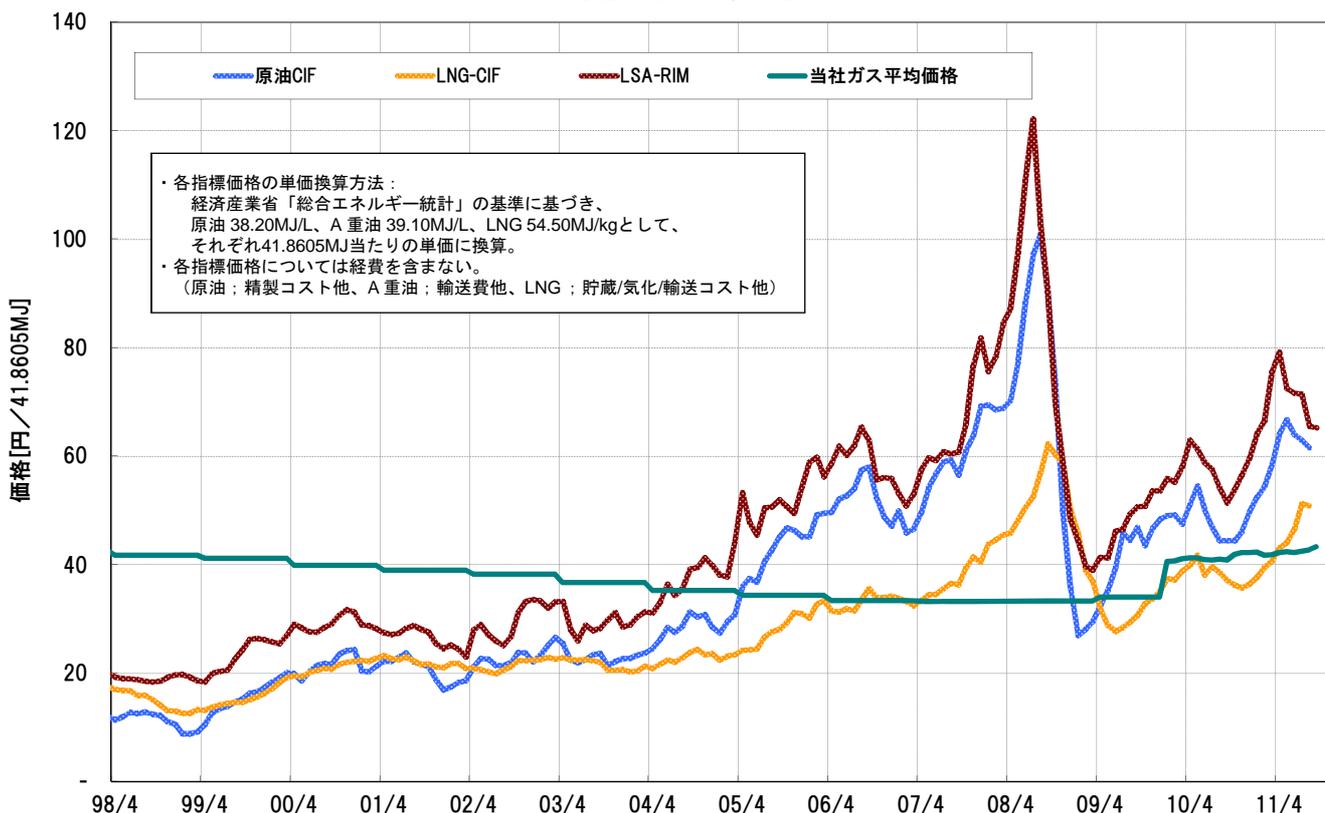
- ガスサプライチェーンの構築

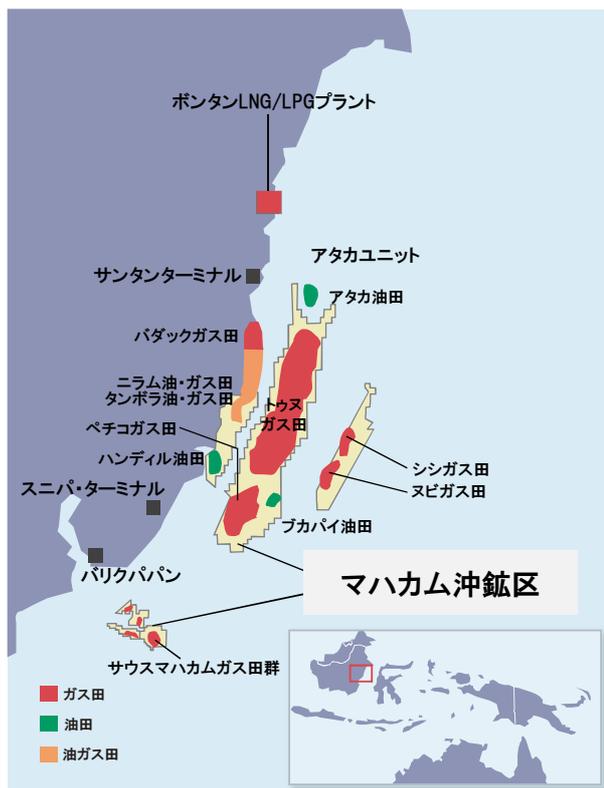
- ・2011年5月、富山ラインの建設を決定
- ・直江津LNG受入基地の建設 (2014年操業開始予定)

* 国内油田・ガス田の合計(2011年3月期平均日産量)
** 1m³当たり41,8605MJ換算

国内天然ガス価格

単位あたりの価格の比較



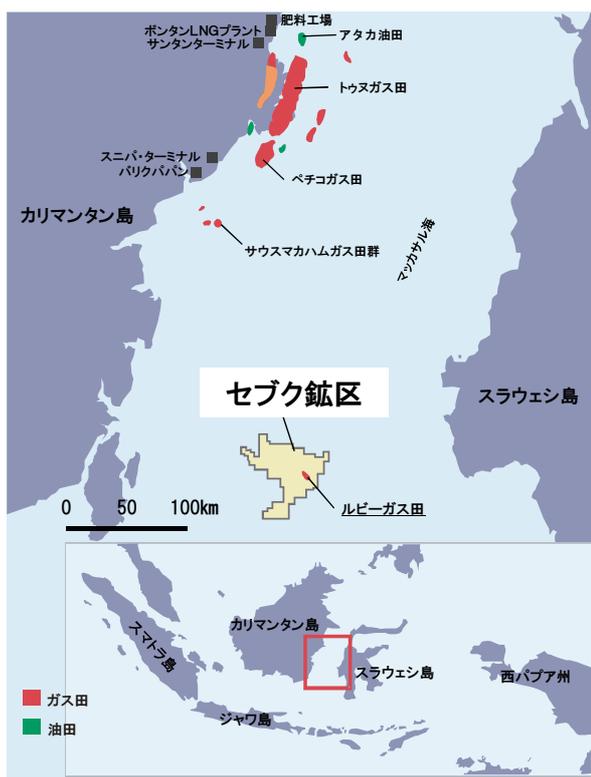


* 全鉱区ベース、2011年9月平均日産量

- 当社権益比率: 50%
(オペレーター: TOTAL)
- 生産量*
 - ・原油・コンデンセート: 日量約8.0万バレル
 - ・天然ガス: 日量約17.8億立方フィート
- PS契約: 2017年まで
- ポンタンLNG基地へのガス安定供給を目的として開発作業を継続
 - ・トウヌ/ペチコガス田の段階的開発
 - ・タンボラ油・ガス田の追加開発
 - ・シシ/ヌビ ガス田の開発
 - ・サウスマハカムガス田の開発
- 2009年2月、日本向けLNG販売契約の更新に係る基本合意書を締結し、2011年よりガスを供給中。
- 2010年10月、西ジャワ洋上LNG受入基地へのLNG販売契約に係る基本合意書締結
- PS契約の更新に向けTOTALとともにインドネシア当局と交渉継続中

セブク鉱区(ルビーガス田)

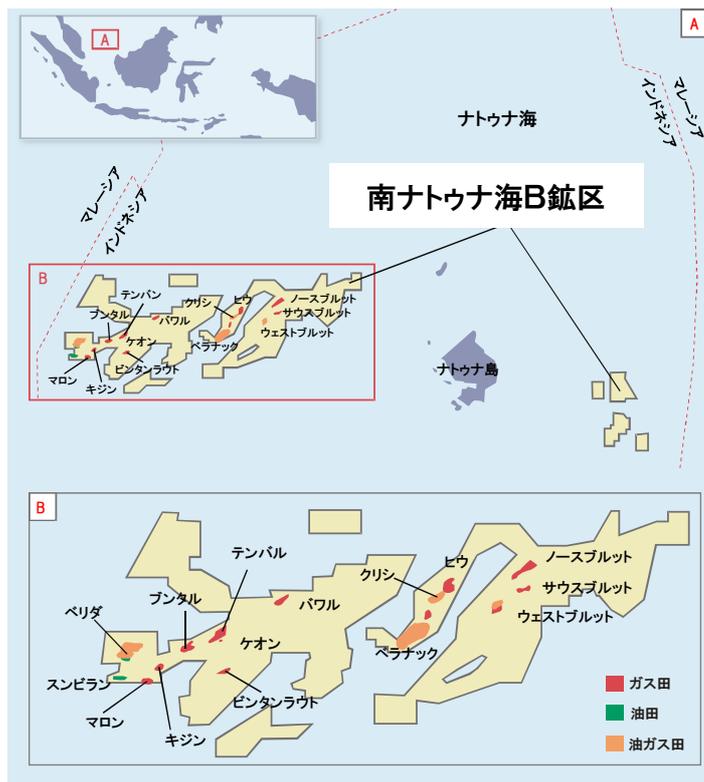
南マカッサル石油



- 当社権益比率: 15%
(オペレーター: Pearl Energy)
- PS契約: 2027年まで
- 2008年7月、インドネシア政府よりルビーガス田の開発計画が承認
- 2010年8月、オペレーターであるPearl Energyと締結した権益譲渡契約のインドネシア政府承認を取得(当社15%権益取得)
- 2011年6月、開発移行決定
- 2013年後半、生産開始予定
- 海上生産施設よりマハカム沖鉱区既存陸上施設へ海底パイプラインにより繋ぎ込む
- 生産ガスの大部分をインドネシア国内肥料工場向けに供給予定

南ナトゥナ海B鉱区 ナトゥナ石油

INPEX

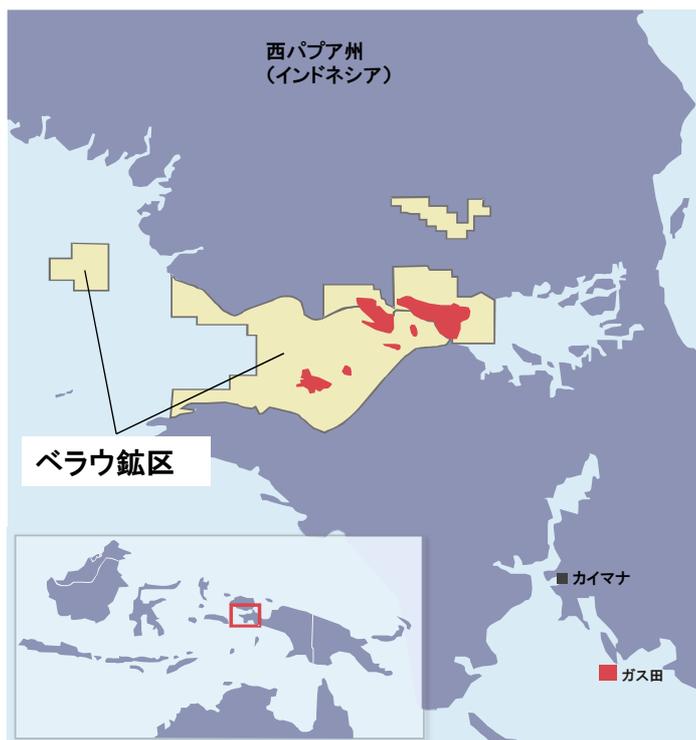


- 当社権益比率: 35.0%
(オペレーター: ConocoPhillips)
- 生産量*:
 - ・原油・コンデンセート: 日量約5.3万バレル
 - ・天然ガス: 日量約3.4億立方フィート
- PS契約: 2028年まで
- SembCorp社(シンガポール)と2001年より22年間、Petronas(マレーシア)と2002年より20年間の天然ガス販売契約締結
- 2004年12月、世界有数規模のFPSOで操業を行うベラナック油ガス田より原油・コンデンセートの生産を開始
- 2007年4月、ベラナック油ガス田よりLPGの生産を開始
- 2007年12月、クリシ油ガス田より生産開始
- 2009年11月、ノースブルットガス田より生産開始
- 2010年10月、ベラナックLPG貯蔵出荷施設の修理のため、LPG生産を停止中(2012年2月生産再開予定)
- 2012年、バワルガス田の生産開始予定
- 2013年、サウスブルットガス田の生産開始予定

* 全鉱区ベース、2011年9月平均日産量

ベラウ鉱区(タンゲーLNGプロジェクト) MI Berau B.V./MIベラウジャパン

INPEX



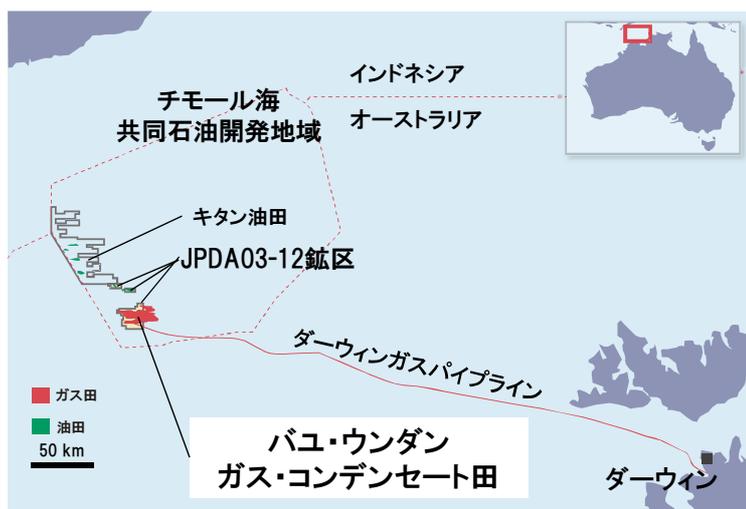
- MI Berau/MIベラウジャパン*:
 - 三菱商事とのJV(当社44%、三菱商事56%)
 - *MIベラウジャパンはケージーベラウ石油開発に約16.5%出資
- 権益比率:
 - ・MI Berau: タンゲー・ユニット 16.3%
 - ・ケージーベラウ石油開発: タンゲー・ユニット 8.56%
(オペレーター: BP)
- 生産量*
 - ・コンデンセート: 日量約7千バレル
 - ・天然ガス: 日量約11.8億立方フィート
- PS契約: 2035年まで
- 生産計画: 年間760万トン
- 2009年7月、LNG船第1船出荷

* 全鉱区ベース、2011年9月平均日産量

バユ・ウندان ガス・コンデンセート田(JPDA03-12鉱区)

サウル石油

INPEX



当社権益比率: 11.378120%
(オペレーター: ConocoPhillips)

生産量*

- ・コンデンセート: 日量約5.9万バレル
- ・LPG: 日量約3.5万バレル
- ・天然ガス: 日量約5.6億立方フィート

PS契約: 2022年まで

2004年2月にコンデンセート/LPG販売開始

2005年8月、東京電力/東京ガスとLNG販売契約締結(2006年から17年間、年間300万トン)、2006年2月、LNG販売開始

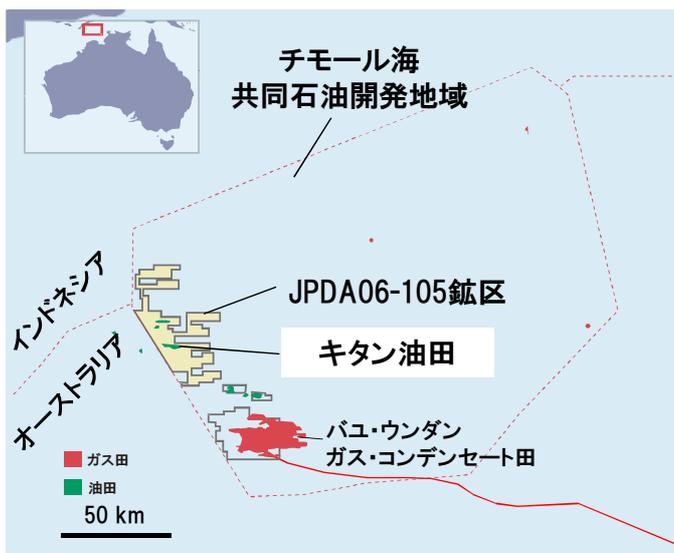
* 全鉱区ベース、2011年9月平均日産量

18

キタン油田(JPDA06-105鉱区)

インペックスチモールシー

INPEX



当社権益比率: 35%

(オペレーター: Eni)

PS契約: 2035年4月まで(キタン油田)

2008年1月、試掘井キタン1号井で原油発見。

2008年4月、キタン油田商業発見宣言

2010年4月、キタン油田の最終開発計画に対し共同管轄当局の承認取得

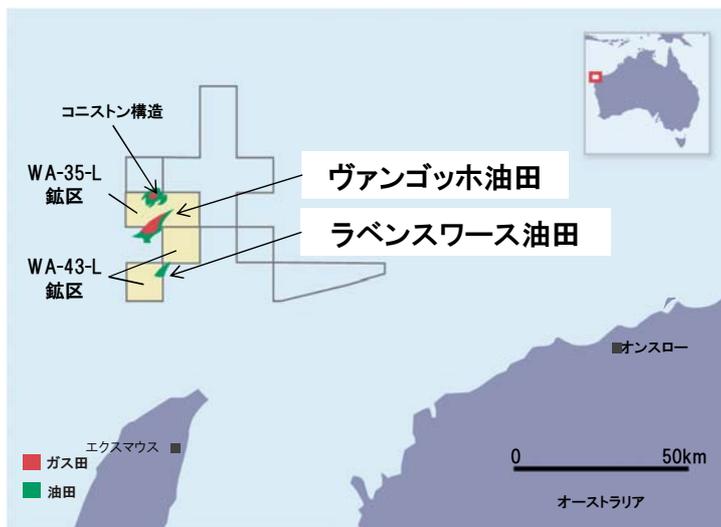
2011年10月、生産開始

19

ヴァンゴッホ油田、及びラベンスワース油田

アルファ石油

INPEX



ヴァンゴッホ油田(WA-35-L 鉱区)

- 当社権益比率: 47.499%
(オペレーター: Apache)
- 利権契約(2008年10月生産ライセンス取得)
- 2010年2月原油生産開始
- 生産量*: 原油: 日量約3.3万バレル

ラベンスワース油田(WA-43-L 鉱区)

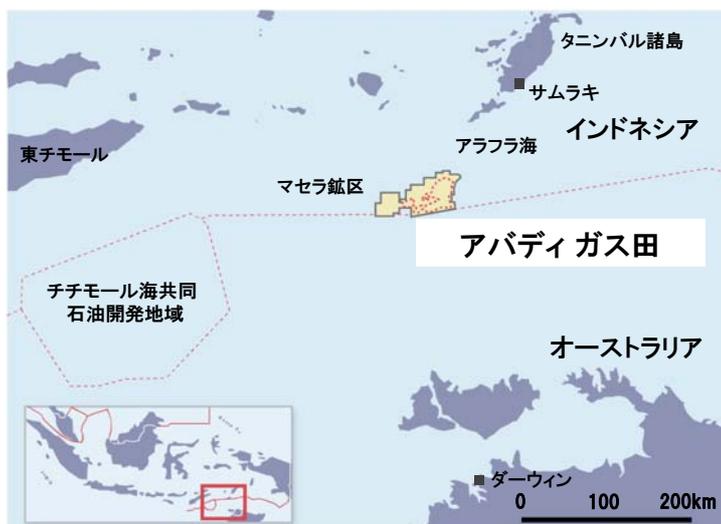
- 当社権益比率: 28.5%
(オペレーター: BHPBP)
- 利権契約(2009年11月生産ライセンス取得)
- 2007年11月開発移行決定
- 隣接するWA-42-L 鉱区の実施施設への繋ぎ込みによる開発
- 2010年8月に生産開始
- 生産量*: 原油: 日量約3.2万バレル

* 全鉱区ベース、2011年9月平均日産量

マセラ鉱区(アバディ)

インペックスマセラアラフラ海石油

INPEX

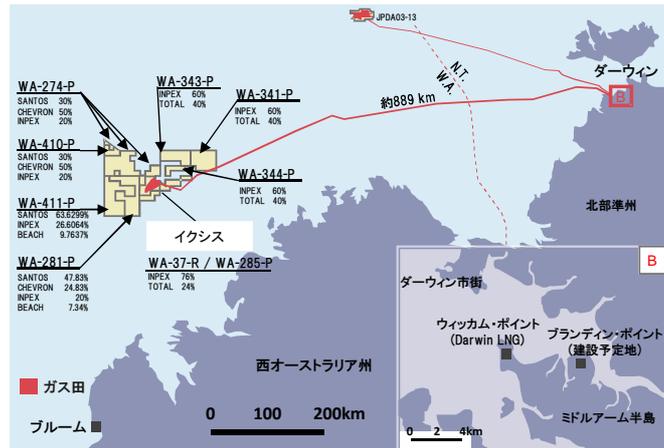
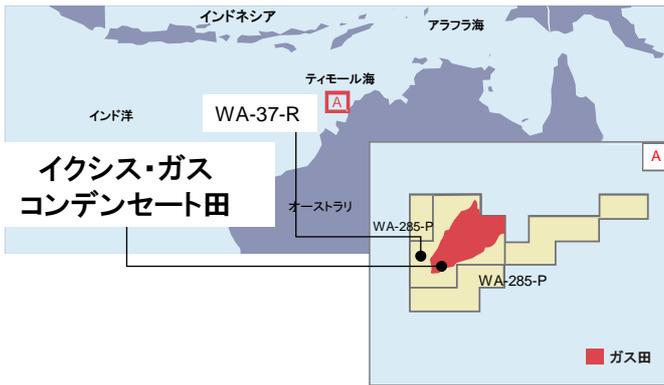


- 権益比率*: 当社60%(オペレーター)、Shell 30%、PT Energi Mega Persada 10%
- 現行保有権益シェア90%のうち30%について、2011年7月、Shell子会社に譲渡を決定
- PS契約:
 - ・探鉱期間10年間(2008年まで)
 - ・開発・生産期間20年間(2028年まで)
- 2010年12月、開発計画(POD-1)についてインドネシア政府より承認を取得
- ・第一次開発
- ・開発方式: Floating LNG
- ・LNG生産量: 年間250万トン
- ・コンデンセート生産量: 日量8,400バレル
- FEED作業に向けた準備、及び、環境社会影響評価(AMDAL)の手続き中
- FEED開始時期: 2012年前半を目標
- ガス田埋蔵量に応じた追加開発の検討を継続

*インドネシア政府の承認等の権益譲渡契約上の先行条件の充足により譲渡発効予定。

WA-37-R 鉱区(イクシス)及びWA-285-P 鉱区

インペックス西豪州ブラウズ石油/INPEX Ichthys Pty Ltd/ Ichthys LNG Pty Ltd (1/2)



- 当社権益比率: 76.0%

- オペレーター: 当社

- 利権契約:

・WA37R(リテンションリース) 2014年9月まで

- 生産期間はライセンス付与から生産終了まで
- LNG年間約840万トン、コンデンセート日量約10万バレル(ピーク)、LPG年間約160万トン生産予定

・WA-285-P(探鉱鉱区) 2015年7月まで

22

WA-37-R 鉱区(イクシス)及びWA-285-P 鉱区

インペックス西豪州ブラウズ石油/INPEX Ichthys Pty Ltd/ Ichthys LNG Pty Ltd (2/2)



■開発作業

- 2000年より計6坑井を掘削し大規模天然ガス・コンデンセート田を確認、イクシス構造と命名
- 2006年8月、長期にわたり豪経済発展に貢献するプロジェクトとして、豪州連邦政府が主要促進プロジェクトに認定
- ガス埋蔵量の拡大を目的として、試掘井Dinichthys North-1を2007年4月より、また試掘井Ichthys West-1を2008年4月より掘削し、計8坑の試探掘を実施
- 2008年9月、ガス液化プラント建設地を北部準州ダーウィンに決定
- 2009年1月、ガス液化プラントの基本設計(FEED)作業開始
- 2009年4月、イクシス ガス・コンデンセート田沖合生産施設・パイプラインの基本設計(FEED)作業開始
- 2010年11月、沖合生産・処理施設(Central Processing Facility)のEPC入札作業開始
- 2010年12月、陸上天然ガス液化(LNG)プラントのEPC準備作業開始
- 2011年3月、液化プラントのエンジニアリング作業終了。EPC準備作業中。
- 2011年7月、沖合施設のエンジニアリング作業終了。EPC準備作業中。

■環境許認可

- 2006年5月、豪州連邦政府及び西豪州政府に対し、プロジェクトの環境影響審査手続きを開始
- 2008年5月、豪州連邦政府及び北部準州政府に対し、プロジェクトの環境影響審査手続きを開始
- 2010年7月-9月、環境影響評価報告書(EIS)のパブリックレビューを実施。
- 2011年4月、パブリックレビュー時のコメントを踏まえ追加レポート(サブプリメント)を政府へ提出。
- 2011年5月、北部準州政府からの承認を取得。
- 2011年6月、連邦政府の承認からの承認を取得。

■生産ライセンス

- 2009年9月、イクシスガス・コンデンセート田をカバーするブロックにつきWA-37-R 鉱区としてリテンションリースが付与(WA-37-R以外のブロックについては従前通りWA-285-P 鉱区として探鉱作業継続中)
- 2011年4月、鉱区開発計画書(FDP)及び生産ライセンス申請書を政府に提出。
- 2011年6月、プロダクションライセンス取得に必要な書類が提出されたことを認めるStatement of Receiptを受領。

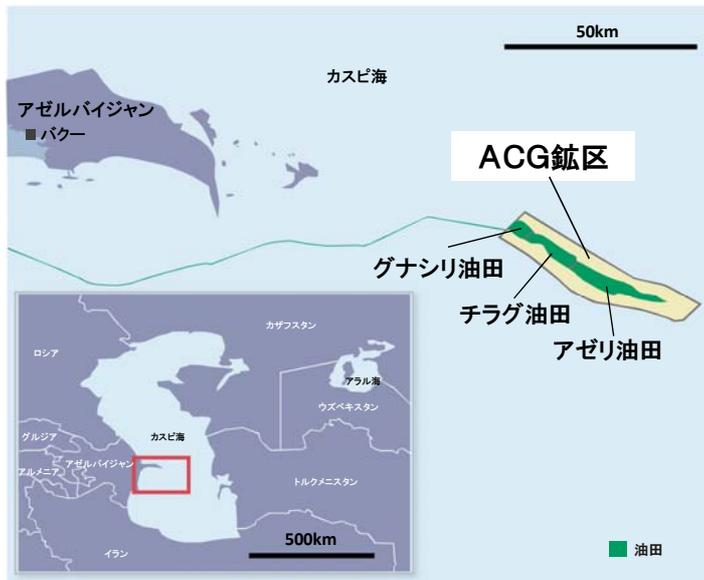
■その他

- 2009年4月、ダーウィン事務所開設
- 2010年10月、豪州パースにおける組織体制を強化

23

ACG油田 インペックス南西カスピ海石油

INPEX



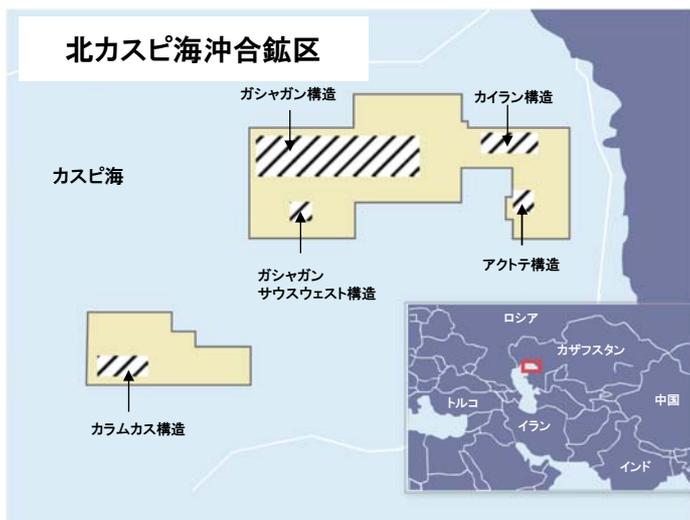
- 当社権益比率: 10.9644%(オペレーター: BP)
- 生産量*: 日量約71.6万バレル
- PS契約: 2024年まで
- チラグ油田1997年生産開始
- フェーズ1: アゼリ油田中央部2005年2月に生産開始
- フェーズ2: アゼリ油田西部2005年12月に生産開始、アゼリ油田東部2006年10月に生産開始
- フェーズ3: グナシリ油田深海部2008年4月に生産開始
- 2010年3月、追加開発(Chirag Oil Project、以下COP)の政府承認(2013年12月生産開始予定)

* 全鉱区ベース、2011年9月平均日産量

24

カシャガン油田ほか インペックス北カスピ海石油

INPEX



- 当社権益比率: 7.56%(オペレーター: NCOC(North Caspian Operating Company))
- PS契約: 2021年末まで*
- 2000年6月カシャガン構造において原油発見
- カシャガン油田以外にもカラムカス/アクトテ/カイルン/南西カシャガンの4構造にて炭化水素の存在を確認
- 2009年1月、新操業会社(North Caspian Operating Company)を設立し、同社がオペレーターAgip KCO社の役割を承継
- 2012年末、生産開始目標
- 第一段階の開発(Experimental Program): 原油生産量は、段階的に日量37万バレル、続いて45万バレルに逐次増加

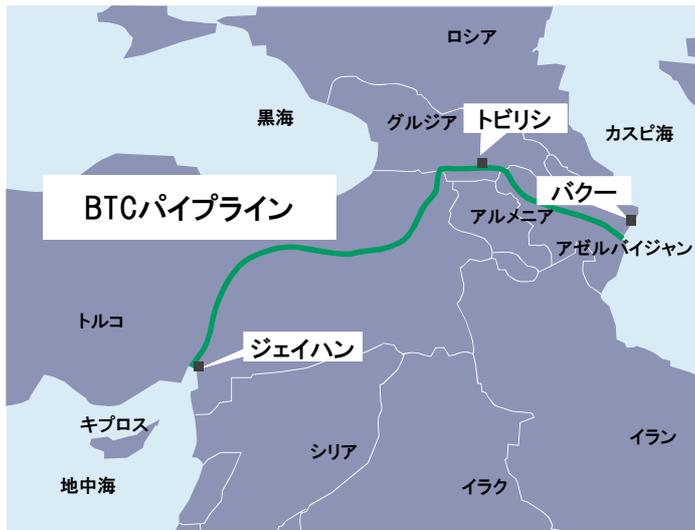
*20年間の延長オプション有り

25

BTC(BakuTbilisiCeyhan)パイプラインプロジェクト

INPEX BTC Pipeline, Ltd.

INPEX



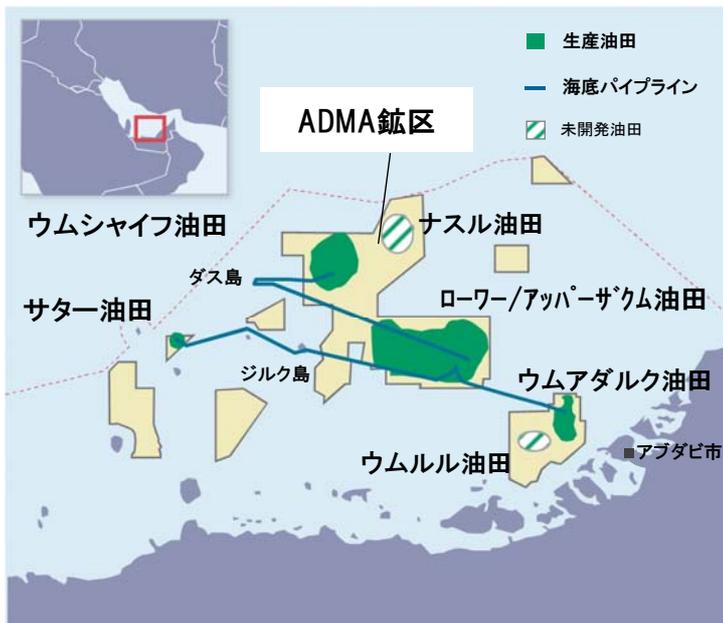
- 当社権益比率:2.5%(オペレーター:BP)
- 2002年10月、当社、参加権益2.5%取得
- 2006年6月、ジェイハンターミナルから原油出荷開始
- 2009年3月、輸送能力日量120万バレルまでの拡張作業を完了
- 2010年9月13日、累計10億バレル出荷を達成

26

ADMA鉦区

ジャパン石油開発(JODCO)

INPEX



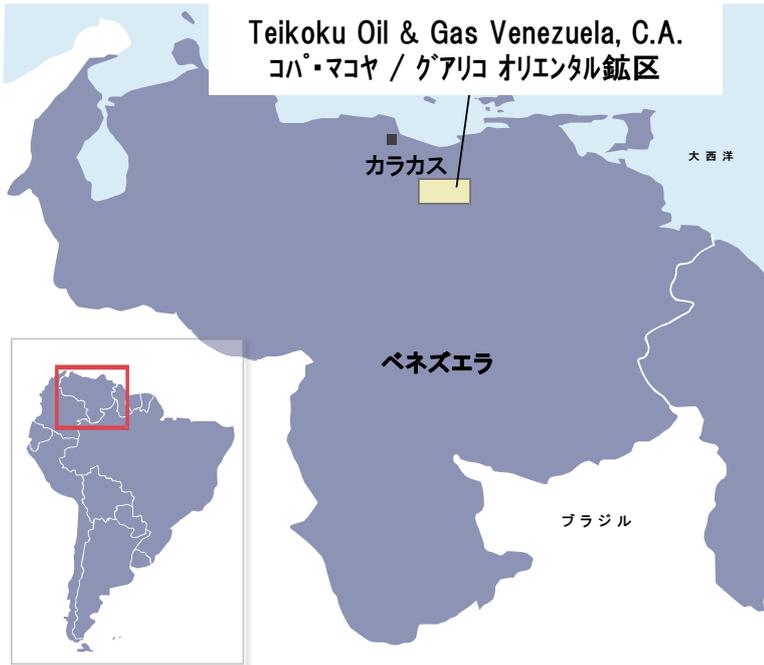
- ウムシャイフ/ローワーザクム油田
 - ・ 当社権益比率: 12.0%(オペレーター: ADMA-OPCO*)
- アッパーザクム/ウムアダルク/サター油田
 - ・ 当社権益比率:
 - アッパーザクム/ウムアダルク 12.0%
 - サター 40.0%(オペレーター: ZADCO*)
 - *アブダビ国営石油会社とJODCOなどで設立した操業会社。JODCOから両社へそれぞれ12%を出資。
- 利権契約: 2018年まで(但し、アッパーザクム油田は2026年まで)
- 生産量維持・拡大のため開発作業を継続中
 - ・ 全油田で水圧入を実施
 - ・ ウムシャイフ/ローワーザクムでガス圧入実施
 - ・ 有望未開発油田の開発計画策定作業
 - ・ 新ガス圧入施設(ウムシャイフ)、追加ガス処理施設(ローワーザクム)設置工事終了し、稼働開始
 - ・ 人工島を利用した再開発計画策定作業(アッパーザクム)

27

ベネズエラ プロジェクト

Teikoku Oil & Gas Venezuela, C.A.ほか

INPEX



- コパ・マコヤ (ガス事業)/
グアリコ オリエンタル鉱区(原油事業)
- ジョイントベンチャー出資比率
 - ・ガス事業:70%、原油事業:30%
 - ジョイントベンチャー契約
 - ・2006-2026年
 - 生産量*
 - ・ガス: 日量約73百万立方フィート
 - ・原油: 日量約1千バレル

* 全鉱区ベース、2011年9月平均日産量

ブラジル プロジェクト

フラージ鉱区ほか

INPEX



- フラージ鉱区(Frade Japão Petrleo Limitada (FJPL))
- 権益比率: FJPL*18.3% (オペレーター: Chevron)
 - *持分法適用関連会社(当社はFJPLの37.5%の株式を保有)
 - 生産量*:
 - ・原油: 日量約7.5万バレル
 - ・ガス: 日量約20百万立方フィート
 - コンセッション契約: 2025年まで

BM-C-31鉱区

- 当社権益比率:20%
- 探鉱作業中

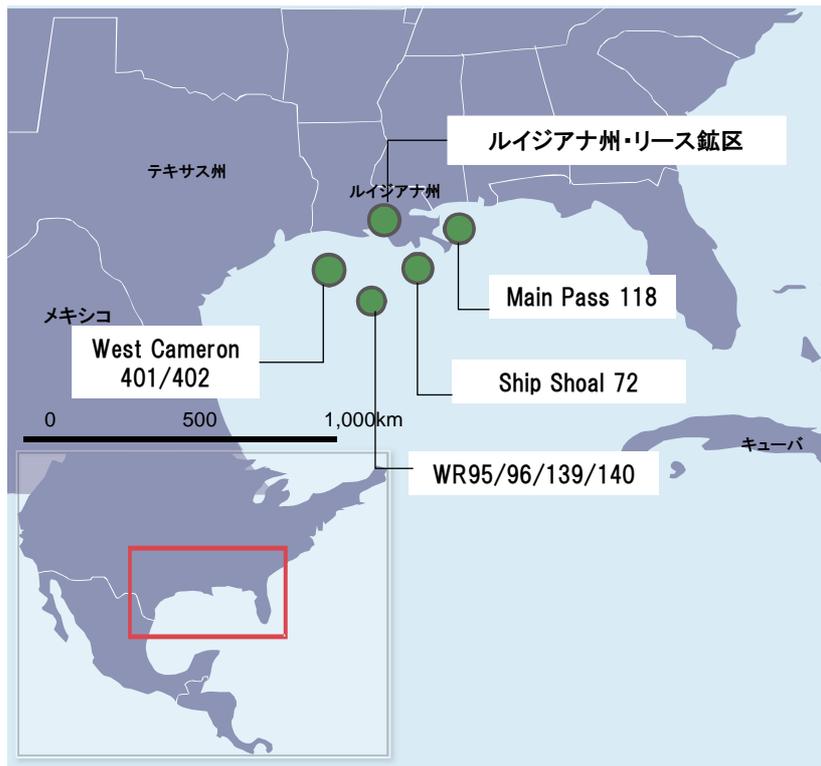
BM-ES-23鉱区

- 当社権益比率:15%
- 探鉱作業中

* 全鉱区ベース、2011年9月平均日産量

米国メキシコ湾 プロジェクト

Teikoku Oil (North America) Co., Ltd. / INPEX Gulf of Mexico Co., Ltd. **INPEX**



浅海海域鉱区

(Teikoku Oil (North America) Co., Ltd.)

- 当社権益比率
 - ・ Ship Shoal 72 : 25%
 - ・ West Cameron 401/402 : 25%
 - ・ Main Pass 118 : 10%
 - ・ ルイジアナ州・リース鉱区LSL
 - 19372:17.5%
 - 20183:25%
- コンセッション契約
- 生産量*
 - ・ ガス: 日量約17百万立方フィート
 - ・ 原油: 日量約0.3千バレル

大水深プロジェクト

(INPEX Gulf of Mexico Co., Ltd.)

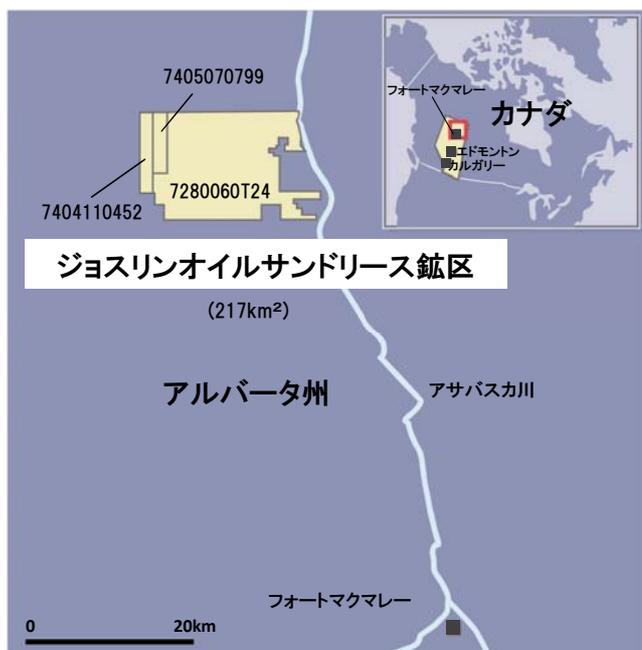
- 当社権益比率
 - ・ ウォーカー・リッジ95/96/139/140鉱区:15%
- コンセッション契約

*Ship Shoal72、West Cameron401/402、Main Pass 118、ルイジアナ州・リース鉱区LSLの全鉱区ベース、2011年9月平均日産量

30

ジョスリン オイルサンドプロジェクト インペックスカナダ石油

INPEX

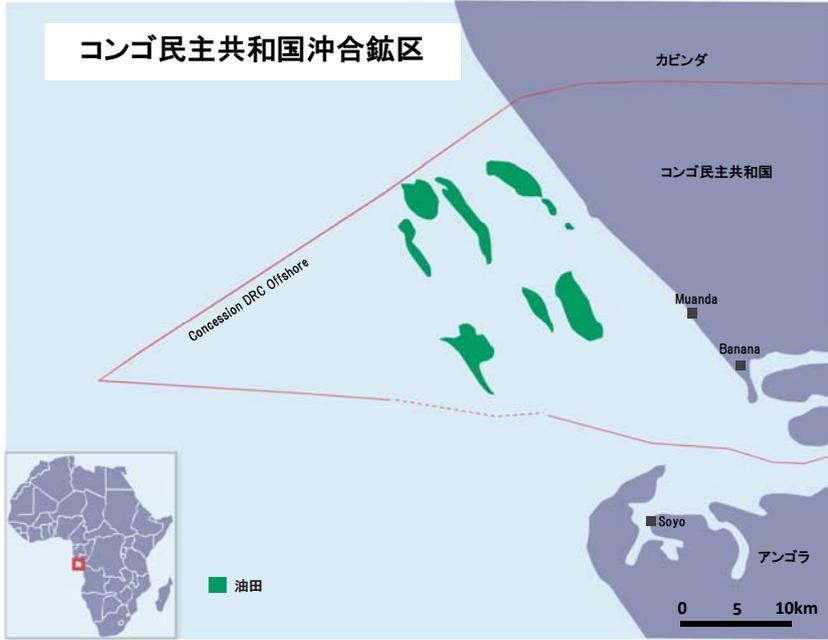


ジョスリンオイルサンドリース鉱区 位置図

- 当社権益比率 :
 - ・ 上流開発プロジェクト 10%(オペレーター:TOTAL)
- リース契約(3鉱区の合計約220km²)
 - ・ 7280060T24 : 無期限
 - ・ 7404110452 : 2004年11月より15年間のprimary lease*
 - ・ 7405070799 : 2005年7月より15年間のprimary lease*
- *延長可能
- 上流開発プロジェクト :
 - ・ スチーム圧入(SAGD法)による生産は休止中
 - ・ 2010年代後半までに、露天掘り開発により、日量10万バレルの生産を計画(第一段階)、その後、日量20万バレルまで拡大予定(第二段階)
- 改質プロジェクト :
 - ・ エドモントンに建設を予定した改質プラントに代わる改質手段を検討中

コンゴ民主共和国沖合鉱区 帝石コンゴ石油

INPEX



- 当社権益比率:32.28%
(オペレーター:ペレンコ)
- コンセッション契約(1969-2023年)
- 生産開始:1975年
- 生産量*: 日量約1.5万バレル

* 全鉱区ベース、2011年9月平均日産量

アルジェリア プロジェクト 帝石エル・オアール石油

INPEX



エル・オアール I / II 鉱区

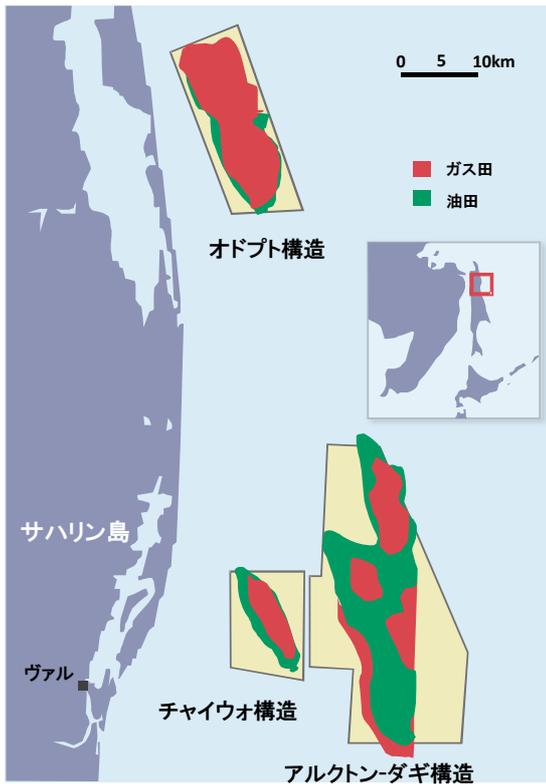
- 当社権益比率:10.29%(オペレーター:ENI)
- コンセッション契約
- 原油およびガス・コンデンセート田の開発準備中



サハリン I

サハリン石油ガス開発

INPEX



- サハリン石油ガス開発(SODECO):当社保有株式5.75%
- SODECOのサハリン I における権益比率: 30.0%
- 生産量*
 - ・原油・コンデンセート 日量約13.5万バレル
 - ・ガス 日量約737百万立方フィート
- オペレーター: ExxonMobil
- PS契約: 2001年12月、20年間の開発期間に移行
- 2005年10月、チャイウオ構造より生産開始、2006年10月原油輸出開始
- 2010年9月、オドプト構造より生産開始
- 天然ガスをロシア国内に供給中。さらに中国等へ輸出を検討中

* 全鉱区ベース、2011年9月平均日産量

34

東シナ海

国際石油開発帝石

INPEX



- 1969年: 試掘権を出願、1981・84年: 地震探鉱を実施
- 1992年: 中国側が平湖油・ガス田を発見、1998年生産を開始。1997～1999年: 石油公団が地震探鉱を実施。2004～2005年: 石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)が地震探鉱を実施
- 2005年4月: 経済産業省が試掘権設定のための処理手続きを開始、これを受け、九州経済産業局に対して、当社出願42,000km²のうち3エリア(約400km²)の試掘権設定の願いを提出。2005年7月: 同3エリアの試掘権が付与され、8月に鉱業権設定が完了
- 2008年6月18日: 東シナ海における日中間の協力について、両政府間で以下を基本合意。
 - ・日中間の東シナ海における共同開発
 - ・白樺(中国名:「春暁」)油ガス田開発
- 当社は、日中政府間協議の行方を見守りながら、作業着手への準備を整えつつ、関係官庁等と協議した上で進めたいと考えている

35

主要会社一覧及び石油契約①*



会社名	鉱区名又はプロジェクト名	国名	石油契約	出資比率	ステージ
日本					
・国際石油開発帝石	南長岡ガス田ほか**	日本	コンセッション	-	
アジア/オセアニア					
・国際石油開発帝石	マハカム沖鉱区	インドネシア	PS	-	
・インペックス南マカッサル石油	セブク鉱区(ルビーガス田)	インドネシア	PS	100%	
・ナトゥナ石油	南ナトゥナ海B鉱区	インドネシア	PS	100%	
・MI Berau B.V.	ベラウ鉱区(タンゲーLNG)	インドネシア	PS	44%	
・インペックスマセラアラフラ海石油	マセラ鉱区(アバディ)**	インドネシア	PS	51.9%	
・サウル石油	バユ・ウンダン	チモール海共同開発地域	PS	100%	
・インペックス西豪州ブラウズ石油	WA-285-P **	オーストラリア	コンセッション	100%	
・INPEX Ichthys Pty Ltd	WA-37-R(イクシス) **	オーストラリア	コンセッション	100%	
・Ichthys LNG Pty Ltd	イクシスプロジェクト下流事業**	オーストラリア	-	76%	
・インペックスチモールシー	キタン油田	チモール海共同開発地域	PS	100%	
・アルファ石油	ヴァンゴッホ油田	オーストラリア	コンセッション	100%	
・アルファ石油	ラベンスワース油田	オーストラリア	コンセッション	100%	

注: * 2011年10月末時点
 **オペレータープロジェクト

主要会社一覧及び石油契約②*



会社名	鉱区名又はプロジェクト名	国名	石油契約	出資比率	ステージ
ユーラシア					
・インペックス南西カスピ海石油	ACG油田	アゼルバイジャン	PS	51%	
・インペックス北カスピ海石油	カシャガン油田	カザフスタン	PS	45%	
中東					
・ジャパン石油開発	ADMA鉱区(アッパーザクム油田等)	アラブ首長国連邦	コンセッション	100%	
アフリカ					
・帝石コンゴ石油	コンゴ民主共和国沖合鉱区	コンゴ民主共和国	コンセッション	100%	
・帝石エル・オアール石油	エル・オアール I / II 鉱区	アルジェリア	コンセッション	100%	
米州					
・インペックスカナダ石油	ジョスリンオイルサンドリース鉱区	カナダ	コンセッション	100%	
・テイコク・オイル・アンド・ガス・ベネズエラ	コパ・マコヤ**/グアリコロエンタル	ベネズエラ	ジョイントベンチャー	100%	
・Teikoku Oil (North America)	Ship Shoal 72ほか	米国	コンセッション	100%	
・Frade Jap ã o Petr3leo Limitada	フラージ鉱区	ブラジル	コンセッション	37.5%***	

注: * 2011年10月末時点
 **オペレータープロジェクト
 ***インペックス北カンボス沖石油(当社の持分法適用関連会社)の子会社。出資比率(37.5%)は同社を通じた当社の実質的な比率。

その他

投資計画と資金調達手段

総額約4兆円

イクシス、アバディ、その他開発探鉱プロジェクト等に対する
2011年3月期～2017年3月期の投資額

公募増資

- 公募増資による資金
(2010年8月実施済。
約5,200億円)

キャッシュフロー

- 毎年の営業キャッシュ・フロー
(参考：2010年3月期
実績 2,414億円)
- 手元の現金及び現金同等物

銀行借入

- JBIC*及び市中銀行からの借入
- 市中銀行借入の一部に対するJOGMEC**による保証
- プロジェクト・ファイナンス

* JBIC： 国際協力銀行、**JOGMEC： 独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構

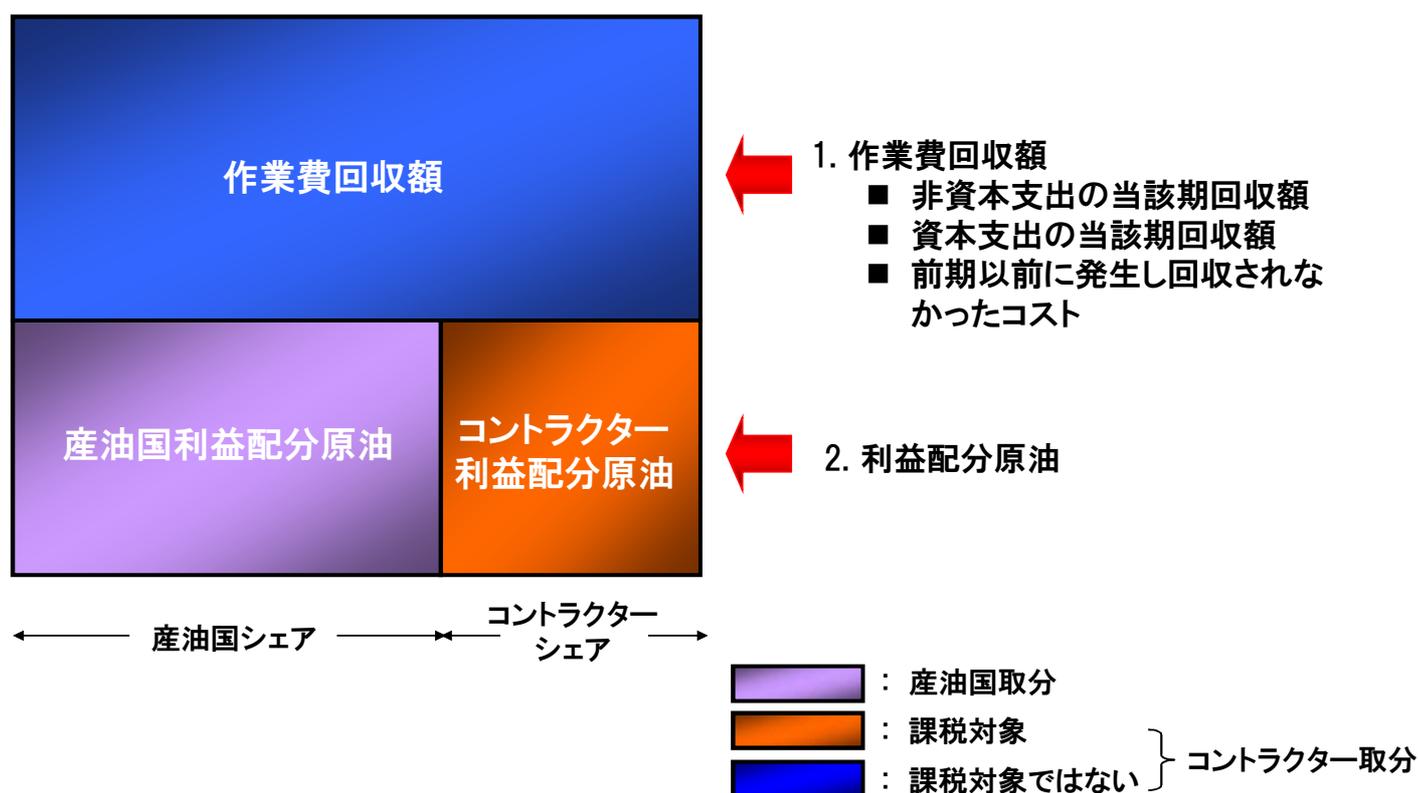
低コストでの有利な資金調達

健全なバランス・シートを維持し、
資金調達の安定性と柔軟性を確保

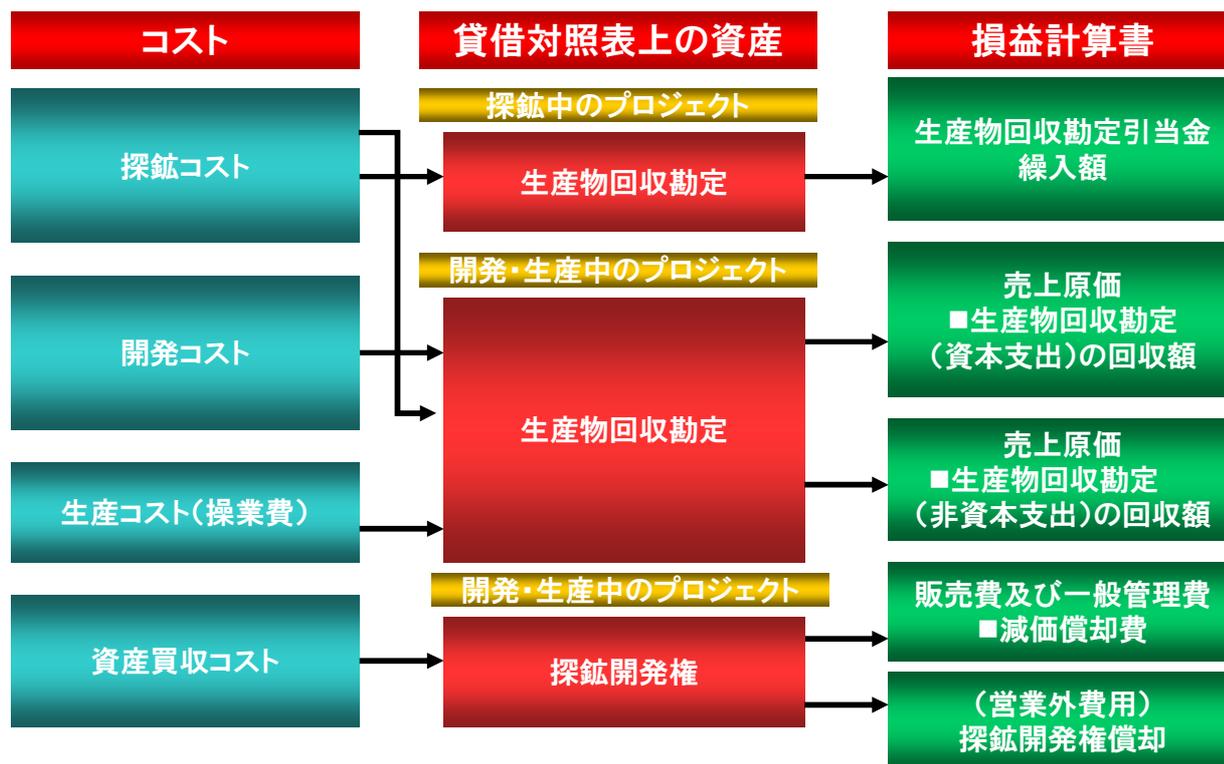
JBIC及びJOGMECの制度金融の
活用により開発資金を調達

- イクシス、アバディ等に必要な投資を確実にするための資金調達力を維持
- 将来の新規プロジェクトへの継続的な投資を実現するために、バランス・シートを更に強化
- 長期的財務レバレッジ水準(目標値)
 - 自己資本比率:50%以上
 - 使用総資本に対する純有利子負債の比率:20%以下

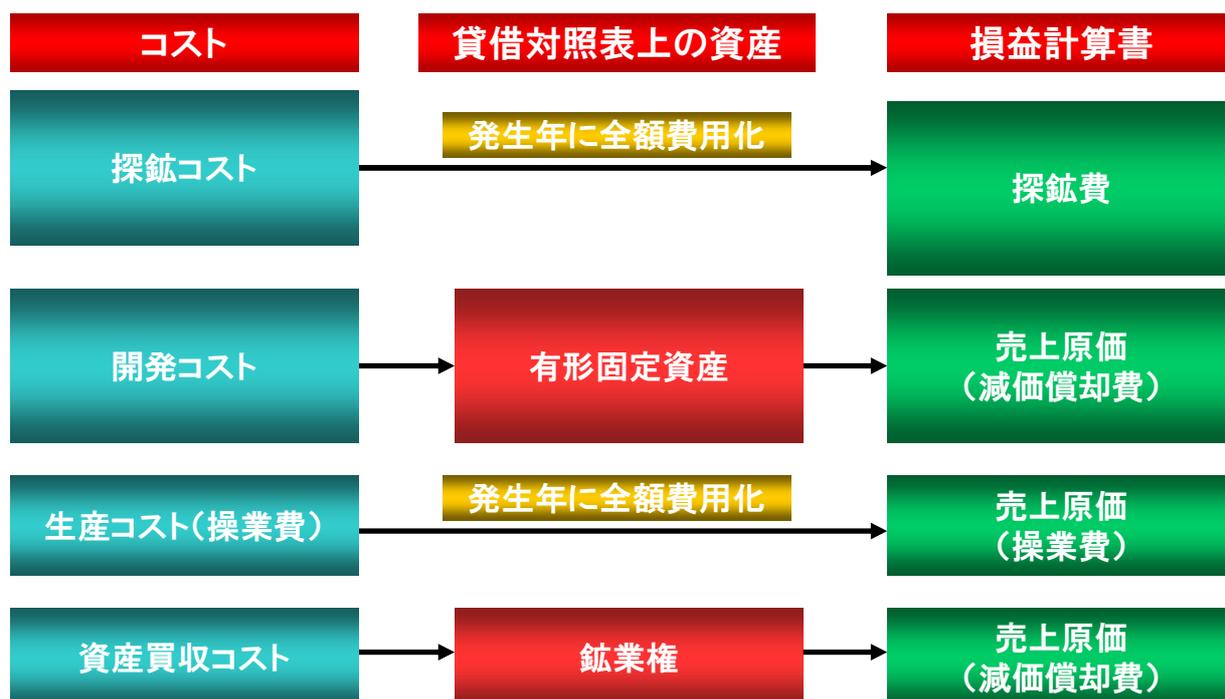
生産分与契約



生産分与契約に係る会計処理

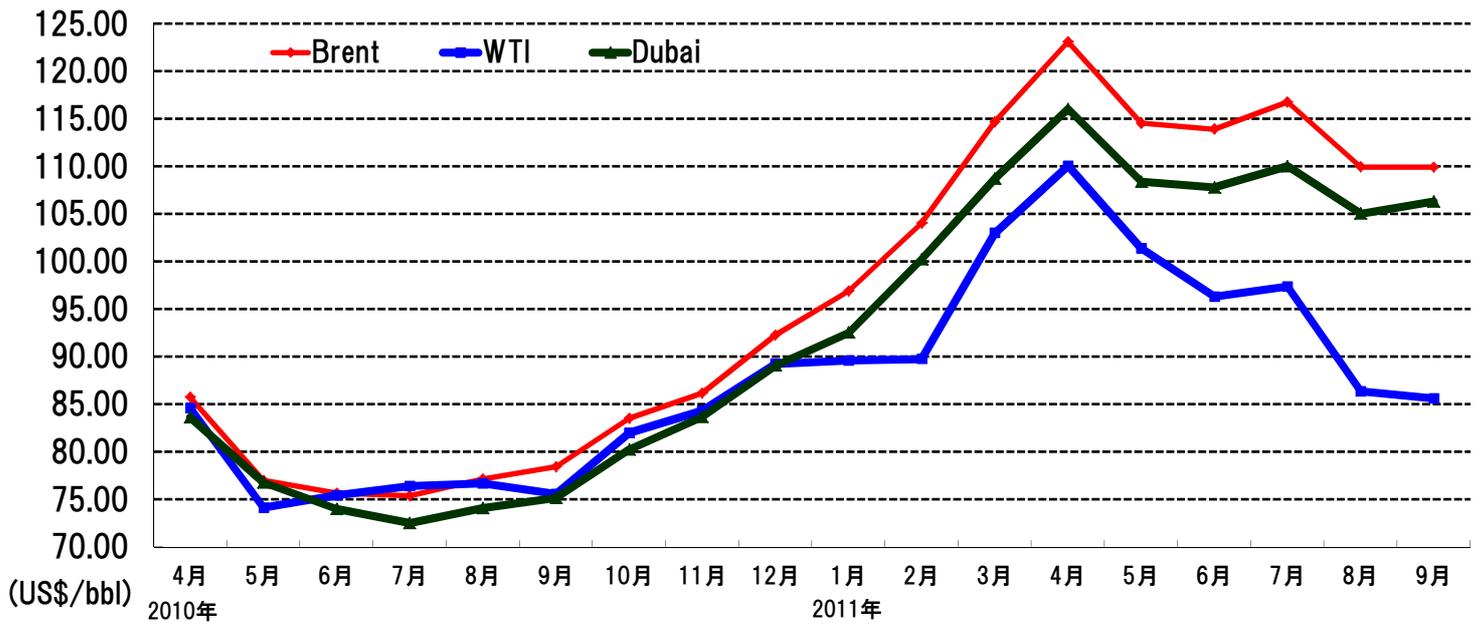


コンセッション契約に係る会計処理



油価の推移

INPEX



	2011年3月期 4-9月	2011年3月期 通期	2011年						2012年3月期 4-9月
	平均	平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	平均
Brent	78.22	87.24	123.09	114.52	113.90	116.75	109.93	109.91	114.68
WTI	77.12	83.38	110.04	101.36	96.29	97.34	86.34	85.61	96.16
Dubai	76.01	84.20	116.00	108.38	107.77	109.99	105.02	106.30	108.91